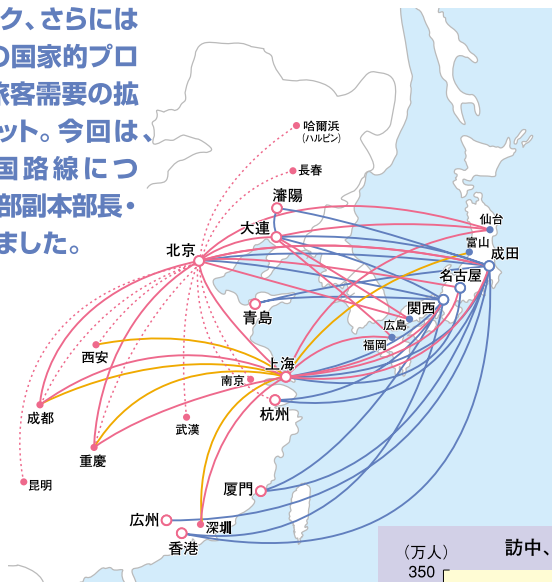


ANA中国線の新たな戦略

2008年の北京オリンピック、さらには2010年の上海万博などの国家的プロジェクトを控え、飛躍的に旅客需要の拡大が期待される中国マーケット。今回は、著しい成長を見せる中国路線について、針間浩治営業推進本部副本部長・中国室長にインタビューしました。

10/29より関西～上海線が毎日2便運航、11/1より成田～廈門線、成田～青島線が毎日運航に！

— ANAの機材および乗務員での運航便
— 中国国際航空とのコードシェア便
— 上海航空とのコードシェア便
— 中国国際航空との乗り継ぎサービス



——近年、ANAの中国路線が勢いづいていますが、このたびの増便とフライトの現状を教えてください。

針間 2006年7月、日中間航空交渉の結果、ANAの中国路線は旅客輸送力で20%増、貨物は倍増となりました。

乗り入れ地点の拡大、さらにコードシェア便の輸送力拡大等で合意し、ANAが中国に直接乗り入れる都市（香港を含む）はこの度の増便を含め9都市、2007年3月には18路線126便になる予定です。コードシェア便は150便、貨物便においては週18便で、10路線を結んでいます。



Interview

営業推進本部副本部長・中国室長

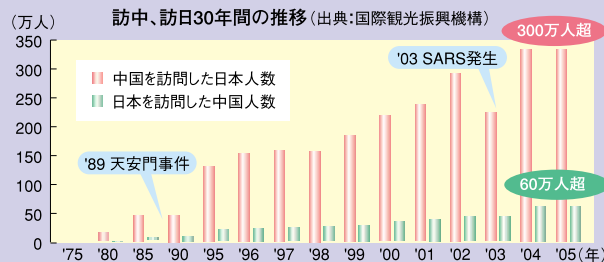
針間浩治 (はりま こうじ)

●Profile

1947年生まれ。1971年ANA入社。東京支店国際販売課長、ワシントン ダレス空港所長、東京支店国際販売部長を経て、2006年4月より現職。

ANA中国線ヒストリー

- 1972年 8月、羽田～上海間で中国上海舞劇団のチャーター便を日本の航空会社として初めて実施
- 1986年 8月、岡崎元社長が訪中し、李鵬副首相（当時）ほか中国要人と会見
11月、ANAとして初の中国向け首相チャーター便を羽田～北京間で運航
- 1987年 4月、初の日中間定期路線、成田～大連・北京線就航
- 1993年 3月、成田～上海線就航
- 1994年 9月、関空～青島線就航
- 1995年 7月、関空～上海線就航
- 1998年 5月、関空～天津線就航
7月、関空～瀋陽線就航、関空～廈門線就航
成田～青島線就航
- 2002年 4月、成田～廈門線就航 中国路線を倍増！
成田～北京・上海線をダブルテリリー化
- 2004年 3月、成田～瀋陽線、成田～杭州線、関空～杭州線就航
- 2005年 4月、成田～広州線就航
5月、名古屋～上海線就航



——来年で中国就航20年とのことですがその間中国マーケットはどのように変化しましたか？

針間 ANAでは中国にゆかりの深い岡崎嘉平太元社長の90歳の誕生日である1987年4月16日に初の日中定期便、成田～大連・北京線を就航させました。

その後日中間の交流拡大に伴い乗り入れ地点、路線数、便数を増大させてきました。この20年の間、就航2年後には天安門事件、そしてアジア通貨危機。その後SARS・反日デモの発生など実にさまざまなことがありました。時には旅客需要が減じましたが、すぐに回復基調に戻るという潜在需要の底力を感じさせるマーケットです。かつ、需要の伸びが極めて早く、昨年（2005年）は、

中国を訪れた日本人が339万人、逆に日本を訪れた中国人が65万人、あわせて400万人以上の実績がありました。ANAが就航した1987年には訪中日本人は57万人、訪日中国人は7万人に過ぎませんでした。10年前(96年)でも訪中日本人数は150万人、訪日中国人は20万人強でしたからこの10年間だけでも3倍以上伸びている! こういった路線はほかにありません。

——最近の中国への観光需要は?

針間 昨年の反日デモ後一時的には低迷しましたが今は完全に回復しています。もともと熟年の方々に人気でしたが最近では若い旅行者の方も増えてきています。

そのようななか、ANAグループでは2004年6月、今後の中国旅行市場の拡大に対応すべく北京に旅行全般を扱う現地法人『全日空国際旅行社(中国)』を設立しました。

——TVCMなどで目にするユニークなキャンペーンの反響はいかがでしょう?

針間 2005年春からスタートした『LIVE ★●LIVE/中国/ANA/中国/ANA』キャンペーンは、中国に派遣された特派員が、独自の視点で撮影した映像・写真をそのまま広告に使用するという、斬新なコンセプトが話題となりました。従来



九寨溝



KONISHIKI夫妻@海南島

REPORT No.015 の観光スポットを、飾り立てて表現するのではなく、中国の「今」を旅行者の視点で伝える。しかも『九寨溝』や『海南島』といった今まで日本人にはほとんど知られていなかったスポットを次々に発掘、自由旅行(FIT)型の旅行需要を喚起した結果、フレッシュな中国の魅力が伝えられたのだと思います。

——中国人のお客様の利用状況はいかがですか?

針間 中国から日本への渡航者は2006年に入ってから、前年の30~40%増と、驚異的に伸びています。これは中国で海外旅行が

自由化され、急速な経済発展によって海外旅行ブームが起こっていることによります。

わが国では全世界から2010年までに『インバウンド1000万人』を目指しています。その内、中国からの訪日客は今と比べほぼ倍増の160万人を見込んでいます。このため昨年7月より中国からの訪日観光団体にかかわるビザ発給対象地域を中国全土に拡大しました。さらに今後、中国から関空や成田を経由して北米に渡る渡航者が加われば、さらなる上乗せも期待できます。現在は米国側が中国からの観光客の受入規制をかけていますが、仮に将来緩和されるようなことになれば、この需要は飛躍的に拡大するでしょう。

——中国内にも格安の航空運賃で攻勢をかけるエアライン(LCC)が台頭する気配ですが…

針間 中国国内線での展開はある程度予測されるものの、直ちに国際線へ進出することは難しいと見ています。サービスの品質面だけでなく、ネットワークや運航頻度を含め、ANA便には十分な競争力があると考えています。ANAのサービス品質は、高い競争力を保持していると自負していますが、時代やお客さまのニーズに応じてよりきめ細かく見直しをしつつ、さらなる品質向上を心がけたいと思います。

——中国線ならではのサービスという点でお聞かせください。

針間 フライト時間が4時間前後なので、ファーストクラスよりも、ビジネスクラスのグレードアップをという要望がより多く寄せられています。シートピッチ50インチ、微妙な調整ができるリクライニングを備えた

ANAハローツアー 特典いっぱいの LIVE/中国/ANAコースをご用意!

「あなただけのLIVEな中国を見つける」そんな新しいコンセプトの魅力いっぱいのコースにはもれなく“CHINAVI BOOK”(※)掲載の特定店舗で使える100元(1400円相当)クーポン付き。さらに、上海への旅行には“CHINAVI WALKIN' MAP”をプレゼント!

※ANAが見つけた中国8都市、雑貨、骨董からレストランまで、およそ170店舗を網羅したお得な特典付きのショッピングガイド



限りなくファーストを連想させる

ビジネスクラス CLUB ANA ♣ Asia

ゆとりのシートピッチ50インチ、シート幅20インチのシートにエンターテインメントを満喫するための多彩なプログラムでゆっくりとしたお時間をご提供!



写真はイメージです

“Club ANA ♣ Asia”はそんな要望にフィットしたのかと…。また和食を中心に日本発では季節を感じられる機内食や、現地でのサポートサービス、携帯電話の貸し出しも好評をいただいております。

——中国路線での他社エアラインとの協力関係はどうなっていますか?

針間 中国国際航空や上海航空との営業提携やコードシェア便を設定するなど中国のエアラインとも協力して、ネットワークの拡充に努めています。ちなみに、このエアライン2社は2007年にスターアライアンスに正式加盟予定で、実現すればグローバルアライアンスとしての機能が一段と強化されることは言うまでもありません。

——旅客にとっての利便性、今後さらに向上する可能性は?

針間 2007年末、北京空港に新ターミナルがオープンし、スターアライアンスの各社が集結予定です。また、上海(浦東)空港も第2ターミナルビルのオープンにあわせて、ラウンジの共有化をはじめ、内際の乗り継ぎがスムーズになり、中国2大ゲートウェイでのグローバルアライアンス機能、ネットワークともに強化されます。

中国へのご出張、ご赴任を強力サポート!

ANA中国ビジネスサポートデスク 0120-029-525 (9:00~17:00/土・日・祝・年末年始休)
中国線をご利用いただくお客様に対し、ご出発前からご到着後まで、快適かつ安心してお仕事をさせていただくため、さまざまなお手伝いをいたします。

★日本発で発券されたANA中国線(香港線含む)を大人普通運賃、エコ割運賃およびPEX運賃でご利用のお客様が対象。

ANA現地アシスタンスサービス(無料)*、ホテル手配サービス(有料)、観光手配サービス(有料)、中国らくらく乗り継ぎサービス(無料)なども充実!

※ご利用期間は現地ご到着後90日間



——ますますの成長が期待される中国線で、あえてリスクをあげるとしたら何ですか?

針間 日中間の需要はつねに右肩あがり強いものがあり、多少のリスクをはねのけるパワーがあります。反日デモの時はビジネ

ス旅客需要への影響は極めて短期間で回復しました。『ビジネス』、『観光』、そして『貨物』という3つのバランスを考慮して路線を選定し、さらに柔軟な機種投入などで中国市場の成長とリスクに対応してまいります。ただ、中国に特化しているとは言っても、距離が短く機材もコンパクトなので、現在ANA国際線全体の輸送力(座席キロベース)の中で中国線が占める割合はおおよそ22%程度です。

——最後にこれからの市場予測をお願いします。

針間 IATA(国際航空運送協会)の予測によれば日中間の総旅客流動数は2010年まで毎年平均8.4%程度伸びて、2010年には1,000万人規模になることが見込まれています。ANAが就航20周年を迎える来年は訪中日本人数は400万人と予測されています。ANAでは日中国交正常化35周年を機に開催される国際交流事業への協賛など、積極的に旅客需要を喚起してまいります。また2008年の北京オリンピック、2010年には上海万博など、国家的プロジェクトも控えており、ますますの飛躍が期待されています。

——ありがとうございました。

アジア最大級の国際マラソン大会「北京マラソン」の冠スポンサーを務めるほか、「大連マラソン」、「杭州ウォーク」など国際的なスポーツイベントや文化的な催しにも積極的に協賛し、中国内でも注目されてきました。



業界初 中国における提携クレジットカード発行 (10/18~)

日常生活でANAマイレージクラブのマイルが貯まる
中国籍以外の航空会社として世界で初めて、中国在住または赴任予定のお客様を対象にクレジットカード「ANA CARD全日空信用卡」を発行。ANAマイレージクラブのマイルも積算できます。

